

G7 情報通信大臣会合に伴う強化サーベイランスの実施について

1. 目的

2016年4月29日～30日にG7香川・高松情報通信大臣会合が、県内外または国外から沢山の方々を迎えて開催されます。会合開催に伴い常時行っているサーベイランスを一定期間強化し、その分析等の情報を幅広くかつ迅速に共有(期間中、県のホームページに日報を掲載)することにより、感染症等の異常な発生を早期に探知し、迅速な対応を行い、被害の拡大を防ぐことを目的とします。

また、監視を強化することにより、意図的な犯罪行為に対する抑止効果もあります。

2. 内容

強化サーベイランスは、既存のサーベイランスシステムを用いてそのデータを収集分析し、関係機関と情報共有を行います。分析は国立感染症研究所の助言、指導を得ながら香川県で行います。分析の結果、異常があった場合は、必要に応じ、疫学調査を実施します。

香川県で強化サーベイランスを実施するのは今回が初めてです。

「強化サーベイランス」

強化サーベイランスは、感染症法に基づく感染症発生動向調査、疑似症定点サーベイランスに加え、薬局サーベイランス、学校欠席者情報システムのデータを用いて、その分析、関係機関との情報共有を行うかたちで、実施するものです。通常時は、感染症発生動向調査の結果を週報にて公表していますが、強化期間中は、それに加え、薬局サーベイランスや学校欠席者情報の分析等を行い、関係機関と情報共有します。感染症の急激な増加や健康危機事案の早期探知を目的として、大規模なスポーツ大会や、政治的、国際的に重要なイベントにおいて実施されています。

全国的には2000年G8九州・沖縄サミット、2008年北海道洞爺湖サミット、2015年わかやま国体などで行われました。

【利用するデータ】

- (1) 疑似症定点サーベイランス
- (2) 薬局サーベイランス
- (3) 学校欠席者情報収集システム

※感染症発生動向調査は、通常通り、週報により公表しますが、注目すべきものがあれば、強化サーベイランス日報に追加掲載します。

3. 予定期間

平成28年4月21日(木)から5月20日(金)の1か月間
毎日(土日祝日を含む)県のホームページに日報を掲載します。

下記の場合、記者室へ情報提供します。

①高度の異常 ②中度の異常で注意喚起が必要な場合

4. 予定情報共有機関

香川県医師会、香川県薬剤師会、感染症指定届出医療機関(43医療機関)
高松市保健所、香川県各保健所、環境保健研究センター、香川県教育委員会
サミット閣僚会合推進室、危機管理課

【利用するサーベイランス】

(1) 疑似症定点サーベイランス

症状や所見から既存の感染症又は他の病因によることが明らかでなく、発熱や発疹などの症状を呈した患者の報告を受けます。

この疑似症サーベイランスを行うことで、万が一、未知の原因不明の感染症疾患が発生した場合にその動向を把握できるシステムです。

第1号疑似症定点 … 摂氏38度以上の発熱及び呼吸器症状(明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。)

第2号疑似症定点 … 発熱及び発しん又は水疱(ただし、当該疑似症が2類感染症、3類感染症、4類感染症又は5類感染症の患者の症状であることが明らかな場合を除く。)

※指定届出医療機関数 36医療機関

(2) 薬局サーベイランス

毎日の薬局の処方状況から特定の薬剤についての処方状況を監視します。

対象薬剤：総合感冒薬、解熱鎮痛剤、抗生物質、
抗インフルエンザウイルス薬、アシクロビル製剤

前日の処方状況を把握できるため、迅速で広範囲な状況を把握することができるシステムです。

※参加薬局数 52薬局

(3) 学校欠席者情報収集システム

学校を欠席する生徒の症状別の発生状況をリアルタイムに把握するシステムです。

※参加施設数 466(幼・保 177、小163、中73、高44、特別支援学校9)

(4) 感染症発生動向調査

定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、届出基準により、患者状況を保健所に報告します。常時、週単位、月単位で報告され、それらを集計分析し、感染症の発生や流行を探知するためのシステムです。

※指定届出医療機関数 43医療機関